

6月24日(土) 10:10~11:40 N会場

10. 地域で活躍する看護師としてのキャリア開発と  
人材活用

座長：荒木田美香子(川崎市立看護大学副学長)

- (1)「地域で活躍する看護師を見すえた看護基礎教育の在り方」  
永田智子(慶應義塾大学看護医療学部教授)
- (2)「地域における特定行為研修修了者の確保と活動の推進について」  
後藤友美(厚生労働省医政局看護課看護サービス推進室長)
- (3)「訪問看護ステーションにおける特定行為研修受講後の看護実践と看護師の育成と活用」  
高関左保(訪問看護ステーション上西所長)
- (4)「施設間の連携に強い看護師養成プログラムの実践報告」  
井川順子(京都大学医学部附属病院看護部長兼キャリア支援センター長)
- (5)「認知症疾患専門病院で看護師を育てる～地域循環型の看護実践を目指して～」  
梶山倫子(横浜メディカルグループ医療法人三星会かわさき記念病院看護部長)

6月24日(土) 13:00~14:30 L会場

11. コロナ禍における認知症診断・治療の問題点と  
将来への希望

座長：福井俊哉(横浜メディカルグループ医療法人三星会かわさき記念病院院長)

- (1)「コロナ禍における当院神経精神科の取り組みと気づき」  
笠貫浩史(聖マリアンナ医科大学病院認知症(老年精神疾患)治療研究センターセンター長/聖マリアンナ医科大学神経精神科教授)
- (2)「コロナ禍における認知症専門病院の現状と課題」  
長濱康弘(横浜メディカルグループ医療法人三星会かわさき記念病院副院長)
- (3)「コロナ禍における当院の取り組み～初期集中支援チーム、連携型認知症疾患医療センターの取り組みを中心に～」  
内門大丈(医療法人社団彰耀会メモリーケアクリニック湘南院長)
- (4)「コロナ禍におけるレビー小体病(LBD)診療～クリニックの立場から～」  
織茂智之(医療法人社団新徳会上用賀世田谷通りクリニック院長)

(5)「コロナ禍での地域における認知症ケア～在宅医療の現場から～」

高瀬義昌(医療法人社団至高会たかせクリニック理事長)

6月24日(土) 13:00~14:30 M会場

12. EHR(Electronic Health Record)の現状と未来  
座長：三角隆彦(済生会横浜市東部病院院長)

- (1)「医療圏をカバーする医療情報ネットワークについて」  
金子周一(金沢大学大学院医薬保健学総合研究科情報医学開発講座特任教授)
- (2)「神奈川県における地域医療介護連携ネットワーク関連施策について」  
市川良成(神奈川県健康医療局保健医療部医療課長)
- (3)「全国のEHRの現状と利活用状況について」  
横田元(株式会社ヘルスケアレイシヨonz取締役副社長)
- (4)「総務省における医療情報化の取組～医療高度化に資するPHRデータ流通基盤構築事業～」  
山崎敬太郎(総務省情報流通行政局地域通信振興課デジタル経済推進室課長補佐)

6月24日(土) 13:00~15:00 N会場

13. 病院の明日を拓くDX(デジタルトランスフォーメーション)  
座長：長堀 薫(横須賀共済病院病院長)

- (1)基調講演：「医療のデジタル化・AI化で心温まる医療を！」  
中村祐輔(国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所理事長)
- (2)「IT/AIの病院への実装を目指して」  
陣崎雅弘(慶應義塾大学病院副病院長/慶應義塾大学医学部放射線科学教室教授)
- (3)「急性期の入力支援AIと医療データ連携を通じた、価値を生み出す急性期医療DX」  
園生智弘(TXP Medical株式会社代表取締役/救命救急医)
- (4)「音声入力電子カルテ導入からAIホスピタル実現へ向けた当院の取り組み」  
土井智喜(横須賀共済病院救命救急センター長AIホスピタルチームリーダー)

◆会長特別企画

6月24日(土) 9:00~11:00 A会場

公の役割、民の役割～徹底討論～